

理科(地学) 東北大学(前期) 経済学部(理系)、理学部、農学部

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

記述・論述

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

その他トピックス

計算問題が出題されなかった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述・論述	天文 (恒星と銀河)	地学	恒星の核融合, 主系列星の質量光度関係と寿命, 銀河の色の時間変化に関する問題である。	標準
2	記述, 論述	大気と海洋 (海洋)	地学	海水の密度と塩分, 海洋の層構造, 海面塩分の分布, 表層混合層の季節変化, 沿岸湧昇の仕組み, 目基礎コワ流の流れる海域の潜熱輸送	標準
3	記述, 論述	岩石鉱物 (鉱物)	地学	SiO ₄ 四面体, 黒雲母のへき開, 斜長石の成分変化, 多形	やや易
4	記述, 論述	地史 (地球の歴史)	地学	大気成分の変化, 縞状鉄鉱層の形成, 植物の陸上進出, シダ植物の大森林と気候の寒冷化, 石油のもととなる黒色頁岩	標準
5	記述, 論述	固体地球 (地磁気)	地学	地球の磁場の発生の仕組み, 残留磁気の成因, 地球磁気圏の形, 黒点と磁場	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

本年度は、地学の全分野から出題された。天文分野の問題は、毎年出題されるが、それ以外の分野は、出題がない年度があるとはいえ、どの分野が出題されても大丈夫なように、地学の全分野を学習しておこう。地学基礎の内容も含まれるので、啓林館の地学基礎と地学の教科書を購入して、しっかりと読んでほしい。

本年度は計算問題が出題されなかった。特に天文分野では、過去問を用いて多くの計算問題を解いておこう。論述問題は50~100字程度を目安に、典型的な問題を練習しておこう。

また、東北大学の過去問に、かなり似た問題が例年出題されている。できうる限り年度を遡って、問題を解いておこう。